

法律専攻カリキュラムマップ(公開版)

学年	科目名	時期	【知識・理解】		【思考・判断】			【関心・意欲】	【技能・表現】		
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
			条文の読み方や基本的法解釈技術など、法律学に共通する一般的・基礎的な知識を習得する。	主要な法領域の特色及びそれら法領域で扱われる制度や概念を説明できる。	法による紛争解決が求められる事案につき、法的問題点を発見し、法的三段論法により解決を図るといった思考をとることができる。	③の思考をする際に、制度趣旨や基本原理に則った利益調整を行ったり、問題解決に必要な事実とそうでない事実をより分けて考えるといった、規範的思考を行うことができる。	対立する考え方を理解したうえで、自分が正当であると考える見解を説得的かつ論理的に論証することができる。	法学一般および各法領域に関心を持ち、授業に積極的に参加することができる。	基本的なアカデミックスキルを修得する。	③④⑤に記した思考の過程・結果を、文書で的確に表現し、考えの異なる他者と意見交換できる。	③④⑤に記した思考の過程・結果を、口頭で的確に表現し、考えの異なる他者と意見交換できる。
1	基礎演習	後期	○		○			○	○		
2	判例演習	前期		○		○		○		○	
3-4	法哲学A	前期		○				○		○	
3-4	法哲学B	後期		○				○		○	
3-4	法制史A	前期		○				○		○	
3-4	法制史B	後期		○				○		○	
3-4	外国法A	前期		○				○		○	
3-4	外国法B	前期		○				○		○	
3-4	法社会学A	前期		○				○		○	
3-4	法社会学B	後期		○				○		○	
1	憲法Ⅰ	通年	○		○				○		
2	憲法Ⅱ	通年		○		○				○	
2	行政法Ⅰ	通年		○		○			○		
3-4	行政法ⅡA	前期		○			○			○	
3-4	行政法ⅡB	後期		○			○			○	
3-4	行政法ⅢA	前期		○			○			○	
3-4	行政法ⅢB	後期		○			○			○	
3-4	税法A	サマセ		○			○			○	
3-4	税法B	サマセ		○			○			○	
2	刑法総論	通年		○		○				○	
2	刑法各論	通年		○		○				○	
3-4	刑事訴訟法	通年		○			○			○	
3-4	刑事政策A	前期		○			○			○	
3-4	刑事政策B	後期		○			○			○	
3-4	少年法A	前期		○			○			○	
3-4	少年法B	後期		○			○			○	
1	民法・総則	前集	○		○				○		
2	民法・物権	通年		○		○				○	
2	民法・債権総論	通年		○		○				○	
1	民法・債権各論	後集	○		○				○		
1	民法・債権各論	後集	○		○				○		
3-4	民法・親族	前期		○		○	○			○	
3-4	民法・相続	後期		○		○	○			○	
3-4	不動産登記法	後期		○		○	○			○	
3-4	民事訴訟法	通年		○		○	○			○	
3-4	民事訴訟法	通年		○		○	○			○	
3-4	民事執行・保全法	前期		○		○	○			○	
3-4	倒産法	前期		○		○	○			○	
3-4	商取引法A	前期		○		○	○			○	
3-4	商取引法B	後期		○		○	○			○	
2	会社法	通年		○		○				○	
3-4	商事決済法A	前期		○			○			○	
3-4	商事決済法B	後期		○			○			○	
3-4	金融サービス法A	前期		○			○			○	
3-4	金融サービス法B	後期		○			○			○	
3-4	企業法務	後期		○			○			○	
3-4	労働法A	前期		○			○			○	
3-4	労働法B	後期		○			○			○	
3-4	社会保障法A	前期		○			○			○	
3-4	社会保障法B	後期		○			○			○	
3-4	経済法A	前期		○			○			○	
3-4	経済法B	後期		○			○			○	
3-4	環境法	前期		○			○			○	
3-4	消費者法	前期		○			○			○	
3-4	医事法	後期		○			○			○	
2	国際法の基礎	前期		○		○				○	
3-4	国際紛争処理法	後期		○			○			○	
2	国家と国際法	後期		○		○				○	
3-4	個人と国際法	前期		○			○			○	
3-4	国際人権・人道法	後期		○			○			○	
3-4	国際組織法総論	前期		○			○			○	
3-4	国際組織法各論	後期		○			○			○	
3-4	国際私法A	前期		○			○			○	
3-4	国際私法B	後期		○			○			○	
3-4	国際経済取引法	前期		○			○			○	
1	裁判法A	後期	○		○		○	○			
1	裁判法B	後期	○		○		○	○			
3-4	演習	通年				○		○		○	

凡例 ○ 当該目標達成のために、特に重要